



# しょうらい 松 籟



耐久中学校  
学校通信 No.1  
H24年4月18日

## 耐久中学校 開校記念事業のご案内

### 「先達が営々と築いて ここに百六十年 新時代を拓く私たちは今」



本校の玄関と講堂正面に掲げている耐久中学校の歴史を語る文言です。濱口梧陵翁が耐久中学校の全身である耐久社を嘉永5年（1852年）に創設されて今年で160年を迎えます。

創設当初からの伝統ある「耐久」の校名を今に伝える歴史と伝統ある中学校です。この節目の年にささやかではございますが、160周年記念事業として、下記のような催しを計画しております。ぜひ、この機会に多くの皆様方に耐久中学校の歴史を改めて知っていただくとともに、現在の耐久中学校をご覧いただき、脈々と受け継がれる「耐久」の歴史を応援していただければ幸いです。

記

日時 平成24年5月19日（土）13:30～

場所 耐久中学校講堂・武道場

内容 160周年記念事業

- ・耐久太鼓発表（太鼓部有志）
- ・マンドリン演奏（耐久高校マンドリン部）
- ・全校合唱（全校生徒）
- ・記念講演

ヤマサ醤油株式会社 代表取締役 濱口道雄氏

演題 「稲むらの火と濱口家の歴史」



武道場において、耐久の歴史展を開催予定です。懐かしい写真や思い出の品々を展示するにあたり、ご協力いただける方は、耐久中学校まで、ご一報下さい。

Tel 63-5431

## 本年度も、「生徒全員が笑顔で登校できる、魅力ある学校づくり」に取り組みます。

春光うらかな季節を迎え、広川町立耐久中学校の平成24年度がスタートしました。今年度の生徒数は1年生59名を加えて全校生徒172名となりました。（昨年度より12名減）

本年度も全教職員一丸となって生徒・保護者・地域の皆さまから信頼される「魅力ある学校づくり」に取り組んでいきたいと考えています。本校教育活動へのご理解、ご支援を賜りますようどうかよろしく願いいたします。

校長 松林 章

## 新着任紹介 よろしくおねがいします。

植田 和成（うえだ かずしげ）

湯浅中学校から転任してきました、植田和成です。自分が中学生として通っていたときとくらべて、学校全体がとてもきれいになっているのに驚きました。頑張っていきたいと思えます。

小島 久佳（おじま ひさよし）

湯浅中学校から転任してきました、小島久佳です。学校行事や地域の行事にも積極的に参加し、生徒達と共に、笑ったり・泣いたりしながら成長していきたいと思っています。

中西 諒（なかにし りょう）

初島中学校から転任してきました、中西諒です。広川町のことも耐久中学校のことも分からないことがたくさんありますが、これから少しずつ知っていききたいと思っています。地域の行事にも積極的に参加したいと思っています！

木村 美代（きむら みよ）

去年は図書支援員として広川町の各小中学校でお世話になりました。本年度、耐久中学校で学習支援員として勤務することになりました。一日一日を大切に、私自身も日々成長していきたいと思っています。

4・5・6月

行事予定



4/24(火)	1年生集団宿泊研修
4/25(水)	白崎少年の家
4/26(木)	(2泊3日)
4/27(金)	2, 3年遠足
5/ 2(水)	育友会総会・授業参観
5/ 8(火)	家庭訪問開始～11日
5/18(金)	開校記念日
5/19(土)	開校記念行事
5/24(木)	中間テスト発表
5/31(木)	中間テスト
6/ 2(土)	陸上記録会
6/ 2(土)	少年メッセージ発表会
6/ 4(月)	教育実習開始
6/ 9(土)	県中学選手権大会
6/23(土)	育友会杯・ツ大会
6/25(月)	期末テスト発表

# 耐久中学校の平成24年度がスタートしました。

4月9日 入学式

1年生A組

1年生B組



4月10日 対面式

新入生代表のあいさつをする新入生



私たち59名は、夢と希望を胸にこの耐久中学校に入学できたことをとても嬉しく思っています。(中略)私たちは、小学校で濱口梧陵さんについて、たくさんのことを学んできました。耐久中学校は、その濱口梧陵さんの志を受け継いだ素晴らしい学校で、歴史と伝統のあるこの学校に入学できることを誇りに思っています。また、私たちは真・健・美の校訓を受け継いで頑張っておられる先輩方からいろんなことを学びつつ、礼儀やマナーを大切に、勉学にクラブ活動に専念していくことを誓い、入学生代表のあいさつとさせていただきます。

4月12日クラブ紹介



## 「朝の読書」—校舎にひとときの静寂が訪れる—



本年度も4月17日より始まった「朝の読書」。8時25分の読み始めとともに校内は一斉に静けさが訪れます。本校で「朝の読書」活動が始まって13年目を迎えます。「朝の読書」の効用は、なんと言っても「静かで落ち着いた中での1日のスタートを始めることができることです。落ち着きのある状態から第1限目の授業に入れることは、授業に「集中」でき、充実した1日を送れることにつながると考えています。

読書が培う力＝国語力・ことばの知識・読解力はあらゆる教科の学習の基礎学力に欠くことができないものといわれます。また、読書によって育まれた豊かな感性や情操、思いやりは生徒の心の発達に大きな影響を与えともいわれます。

学校では週4日、しかも1日10分間の取り組みですが、非常に大切な時間として位置づけています。

学級文庫の設置や新刊図書を紹介(「図書館だより」)など、読書好きな生徒が増えてくれることを願っているいろいろな工夫をしています。どうかご家庭におかれましても、この取り組みにご理解とご協力をお願いします。

